

資料提供

平成27年8月4日

課名：平和推進プロジェクト・チーム

担当者：谷村，田澤

内線：2368

直通電話：082-513-2368

ペリー元米国国防長官による講演会等の開催について

1 趣 旨

核兵器のない平和な世界の実現に向けた国際的な気運を一層高めるため、「核兵器のない世界」を提唱した米国4賢人のひとりであるウィリアム・ペリー元米国国防長官による講演会を開催する。



ウィリアム・ペリー (William J. Perry)

1927年10月11日生(87歳)。米国の政治家。1977年、ジミー・カーター政権で国防次官(研究・工学担当)、ビル・クリントン政権では、国防副長官(1993年)、国防長官(1994年2月～1997年1月)を歴任。2007年1月、シュルツ元国務長官、キッシンジャー元国務長官、ナン元上院議員とともに、米ウォール・ストリート・ジャーナル紙に「核兵器のない世界」と題した意見論文を発表。当論文は、オバマ大統領のプラハ演説「核兵器なき世界」へと繋がった。

現在はスタンフォード大学フーバー研究所上席研究員。

近著 My Journey at the Nuclear Brink (核の瀬戸際における私の旅)。

2 開催概要

(1) 日時

平成27年8月23日(日) 14:00～16:00

(2) 会場

グランドプリンスホテル広島 SEASHORE (広島市南区元宇品町23-1)

(3) 主催

広島県

3 全体日程

区 分		時 間	内 容
第一部	講 演 会	14:00～ 14:20 (20分)	ウィリアム・ペリー元米国国防長官 講演会 ・政府高官としての経験、平和・核軍縮への思い、広島への期待、 近著: My Journey at the Nuclear Brink (核の瀬戸際における私の旅) 紹介等
		14:20～ 14:50 (30分)	青少年との意見交換(次世代を担う若者の平和教育に関して) ・ウィリアム・ペリー元米国国防長官 (質問者) 「核兵器のない世界」の実現に関心の高い青少年等 (モデレーター) 春原剛氏(すのはら・つよし 上智大学グローバル教育センター客員教授)
第二部	セッション	15:00～ 16:00 (1時間)	平和・軍縮問題の専門家等との意見交換 ・ウィリアム・ペリー元米国国防長官 ・賢人グループ会合(GEM)参加者(調整中) ・知事 (モデレーター) 春原剛氏(すのはら・つよし 上智大学グローバル教育センター客員教授)

4 申込先及び申込方法

裏面のとおり

平和関連行事について

1 ひろしまラウンドテーブル

- (1) 日 時 平成27年8月8日(土)～9日(日)
- (2) 会 場 グランドプリンスホテル広島
- (3) 全体テーマ 核兵器の非人道性と安全保障
- (4) 主 催 広島県
- (5) 参加者
日本、米国、中国、韓国、豪州の核軍縮、国際関係の専門家、実務者など
- (6) シンポジウム 別紙のとおり

2 賢人グループ会合【GEM(Group of Eminent Persons)】

- (1) 日 時 平成27年8月24日(月)～25日(火)
- (2) 会 場 グランドプリンスホテル広島
- (3) 主 催 CTBTO (包括的核実験禁止条約機関) 準備委員会暫定技術事務局
- (4) 参加予定者
ケビン・ラッド氏 (オーストラリア・前首相), 阿部信泰氏 (元国連事務次長),
ウィリアム・ペリー氏 (米国・元国防長官), デス・ブラウン氏 (英国・元国防大臣),
ラッシーナ・ゼルボ氏 (ブルキナファソ・CTBTO準備委員会事務局長) ほか

3 第25回国連軍縮会議in広島

- (1) 日 時 平成27年8月26日(水)～28日(金)
- (2) 会 場 グランドプリンスホテル広島, 平和記念公園, 平和記念資料館, 国際会議場
- (3) 主 催 国連アジア太平洋平和軍縮センター
- (4) 協 力 外務省, 広島県, 広島市
- (5) 参加者 世界各国の政府高官, 軍縮問題の専門家等 100名程度
- (6) 会議日程

日程	プログラム
8/26 (水)	○オープニングハイレベルセッション: 「核兵器のない世界」の実現に向けた新たな決意と具体的な行動 開会挨拶 第一部:「核兵器のない世界」の実現に向けて～被爆地からのメッセージ (登壇者) 広島県知事, 広島市長, 坪井直広島県原爆被害者団体協議会理事長, 秋山信将一橋大学教授, 賢人グループ会合参加者ほか 第二部: 核軍縮におけるCTBTの役割 ○被爆の実相を伝えるプログラム 原爆死没者慰霊碑への参拝・献花, 平和記念資料館の見学, 被爆体験証言の聴講 ○歓迎レセプション
8/27 (木)	○セッション1～4
8/28 (金)	○特別セッション「世界学生平和会議」 ○閉会式 ○エクスカージョン (宮島視察)



国際平和シンポジウム

～核兵器の非人道性と安全保障を考える～

近年、核兵器廃絶へのアプローチを巡って、核兵器を持つ国と持たない国の間の溝が深まっています。今こそ、政府関係者や市民社会が一緒になって知恵を出し合い、核兵器廃絶への道筋を探る必要があります。このシンポジウムでは、被爆70年の節目の年に、広島に集った「ひろしまラウンドテーブル」と「核不拡散・核軍縮のためのアジア太平洋リーダーシップ・ネットワーク (APLN)」会議の参加者が、核軍縮を巡る現状や今後の展望などについて意見交換を行います。ぜひご参加いただき、核兵器廃絶に向けた具体的な取り組みについて一緒に考えていきましょう。

入場無料 定員 **100名**

※原則事前申し込みが必要です。詳しくはウラ面へ。

英語・日本語の同時通訳



日時

平成27年 **8月9日** (日) 15:15～17:00 (受付は14:45)

会場

広島国際会議場 B2F「コスモス」
(広島市中区中島町 1-5 広島平和記念公園内)

ごあいさつ



湯崎 英彦
広島県知事

パネリスト



阿部 信泰氏
内閣府原子力委員会委員、
元国連事務次長 (軍縮担当)



ギャレス・エバンス氏
オーストラリア国立大学学長、
元オーストラリア外相



沈 丁立氏
復旦大学教授 (中国)



藤原 帰一氏
東京大学大学院教授

ひろしまラウンドテーブルとは

広島県が平成23年に策定した「国際平和拠点ひろしま構想」に掲げる「核兵器廃絶のロードマップ支援」の具体化に向け、平成25年度から開催している、東アジアの核軍縮・軍備管理に焦点を当てた多国間協議。

核不拡散・核軍縮のためのアジア太平洋リーダーシップ・ネットワークとは

核不拡散・核軍縮国際委員会 (いわゆる川口・エバンス委員会) のフォローアップの一環として、アジア太平洋地域の有志を集めて、平成23年に設立された組織 (座長: エバンス元オーストラリア外相)。平成26年度から知事もメンバーとして参加している。

お問い合わせ

広島県平和推進プロジェクト・チーム ☎ **082-513-2368**

FAX 082-228-1614 ✉ chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp

詳しくは
広島県HPより

平成27年 国際平和シンポジウム

検索

国際平和シンポジウム 参加申込書

～いずれかの方法により、期限までにお申し込みください。～

申込期限	平成27年8月8日(土)
F A X	太枠内に必要事項を記入の上、082-228-1614 まで送信してください。
郵 送	〒730-8511 広島市中区基町 10-52 広島県 地域政策局 平和推進プロジェクト・チーム「国際平和シンポジウム」係 まで太枠内に必要事項を記入の上ご郵送ください。
Eメール	メールアドレス：chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp まで 太枠内の必要事項を記入の上、件名を「国際平和シンポジウム」として送信してください。 ※ 参加申込書 (word 形式) はホームページからもダウンロードできます。 広島県HPより <input type="text" value="平成27年 国際平和シンポジウム"/> <input type="button" value="検索"/>
電子申請	・携帯電話、スマートフォンからは、右のQRコードから申請できます。 ・パソコンの方は上記ホームページよりアクセスしてください。  携帯電話用  スマートフォン用

フリガナ	
お名前	
職業等	※ 該当するものにチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 教職員 (<input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 高校生 (学校名：) <input type="checkbox"/> 大学生 (学校名：) <input type="checkbox"/> その他 ()
電話番号	() -
メールアドレス	@
パネリストへの質問	※ パネリストへのご質問がありましたら、ご記入ください。記入された内容は当シンポジウムで紹介させていただくことがあります。

※ 入場券等は発行いたしませんので、申し込みをされた方は当日直接会場までお越しください。

※ 個人情報の保護に関する法律および広島県個人情報保護条例に基づき、ご記入いただいた個人情報はこの事業の目的にのみ使用し、それ以外の目的で使用したり、外部に提供したりすることはありません。

FAX 番号はお間違えないようご注意ください。

FAX:082-228-1614